



つじの しんいち
辻野 眞一

担当 営業部 お客様係

これからうっとおいしい梅雨の季節に入っまいります、皆さん体調には十分気を付けましょう。さて、早速ですが今月のお題である「私の父」について少しお話ししたいと思います。このような機会でもない限り改めて自分の父について振り返ることもなかったと思いますので丁度良い機会だと思います。私の父は昭和 10 年生まれの 83 歳ですが、今ではすっかり衰えたとはいえ、毎日大好きなカラオケの仲間と歌を楽しんでおります。父は基本的に真面目で硬い考え方の持ち主です。その物腰の低さから父のもとに相談に来る人が絶えませんでした。しかし、自分がこうと決めたことにはとことん追求しないと気が済まない性格も持ち合わせています。「猪突猛進」という言葉がぴったりです。考えてみれば自分にもそのような性格が多少あったりして、やはり血は争えないなあとも思います。私は、そんな父の尊敬する部分として人脈の広さを挙げたいと思います。どんな人とも分け隔てなくお付き合いする父の人脈は相当なものです。到底私には及ばない父の顔の広さイコール「人徳」は、見習わなくてはならないと常々思っているところです。これから親孝行といっても何もできませんが、自分も日々精進していつの日か父を乗り越えていきたいと思ひます。



はせがわ ひろゆき
長谷川 裕幸

担当 貸貸管理部管理課 お客様係

皆さま、こんにちは。いつの間にか5月のゴールデンウィークもあっという間に過ぎ、気が付けばもう6月に入りました。6月といえば梅雨に入りジメジメとして嫌な時期なのですが、私の近所の城址公園では、あじさい祭りが行われており、きれいな花を見ると気分も少しは和らぎます。

さて、今回のお題の「私の父」ですが平成 25 年 11 月に亡くなり、早いものでもうすぐ5年になります。手先が器用で田んぼや畑を作り、また会社員のかたわら副業として左官屋のような事もしていました。会社を定年退職してからは幼稚園のバスの運転手を 70 歳までしており、働き者の父でした。

今思えば生前にもっと一緒に旅行に行ったり、もう少し優しくしておけば良かったと後悔しております。まさに、「親孝行したい時には親はなし」が今の心境です。

これからは、父のような人生を送れる事が、親孝行だと思ひ頑張っていきたいと思ひます。